

かごしま

文化財

探訪



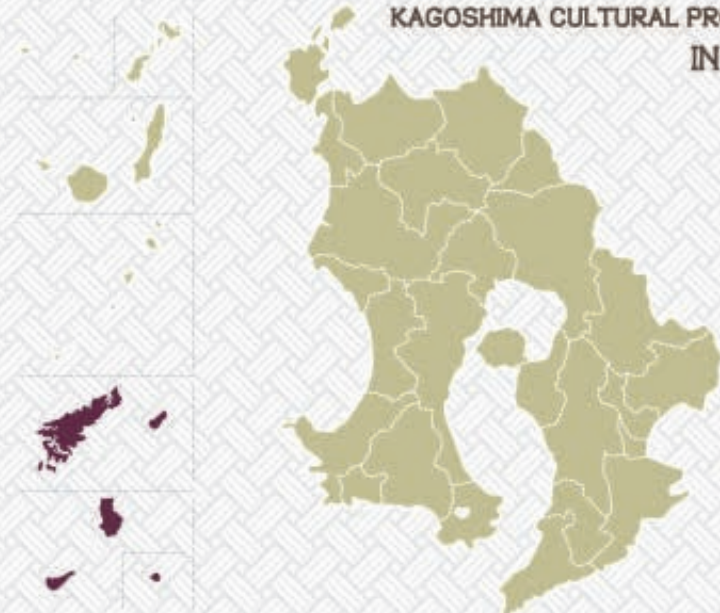
あなたの知らない鹿児島に
あいにくう。

KAGOSHIMA CULTURAL PROPERTY EXPLORATION
IN OSHIMA AREA

鹿児島の
歴史大好きガール
下豊留佳奈さん
オススメ3コース
全24箇所



県文化財保護審議会会長
志摩館大学教授
原口泉さん 監修



かごしま
文化財
探訪
大島地区



はじめに

鹿児島県教育委員会では、本県に所在する文化財の価値を広く国内外に発信し、本県の魅力を伝えるため、文化財をテーマとした周遊モデルコースを設定し、歴史ガイドブック「かごしま文化財探訪」やPR動画を制作しました。

本書は、今年度対象地区とした大島地区におけるテーマごとの周遊モデルコースや、その文化財を掲載したものです。令和元年度から令和3年度にかけて、7地区について作成しました。

本県は、九州最南端に位置し、その範囲は奄美群島まで南北約600kmにもわたり、各地で様々な文化が生まれ、現在も数多くの文化財が残されています。本書では、県内の一部の文化財を紹介しておりますが、これを糸口として、県内外の多くの方々对本県の文化財に興味を持ち、探訪していただければ幸いです。

令和4年3月
鹿児島県教育委員会

本ガイドブックをはじめとする「『かごしま再発見！』文化財魅力開花推進事業」の成果物は県のホームページ（下のURL参照）で公開しています。



<https://www.pref.kagoshima.jp/ba08/saihakkenn/bunkazaimiryoku.html>



鹿児島は日本の南にあり、古くから中国をはじめとするアジア太平洋地域の国々の影響を受けながら特色ある歴史を積み重ねてきました。文化財を探訪することで、鹿児島島の魅力を再発見してみましょう。

大島地区では、「たっぷり喜界島コース」、「シマの文化巡りコース」、「先人ゆかりの地コース」の3つのモデルコースを設定しました。

喜界島1日間遊！
「たっぷり喜界島コース」



- 城久遺跡 P9
- ウリガー P10
- 芭蕉句碑 P11
- 巨大ソテツ生息地 P12
- アカテツ群 P13
- ガジュマル群 P14
- 戦闘指揮所跡 P15

奄美大島・徳之島1泊2日！
「シマの文化巡りコース」



- 宇宿貝塚 P18
- 奄美ばしゃ山民俗村旧安田家住宅主屋 P19
- 旧岩切家住宅高倉・旧大司家住宅高倉・旧有村商事高倉 P20
- 大和浜のオキナワウラジログシ林 P21
- 佐念モーヤ P22
- ホノホシ海岸 P23
- 犬田布岬 P24
- 戸森の線刻画 P25
- アジ墓 P26

沖永良部島・与論島2泊3日！
「先人ゆかりの地コース」



- 和泊町の世之主の墓 P29
- 後蘭孫八の城跡 P30
- ジッキョヌホー P31
- 住吉暗川 P32
- 昇竜洞 P33
- 与論城跡 P34
- 根津栄墓 P35
- アマンジョウ P36

その他

- その他文化財 P37～



喜界島1日周遊！
「たっぷり喜界島コース」

奄美大島・徳之島1泊2日！
「シマの文化巡りコース」

沖永良部島・与論島2泊3日！
「先人ゆかりの地コース」

大和浜の
オキナワウラジロガシ林

旧岩切家住宅高倉・
旧大司家住宅高倉・
旧有村商事高倉

宇宿貝塚

奄美ばしゃ山民俗村
旧安田家住宅主屋

城久遺跡

ウリガー

喜界島

戦闘指揮所跡

芭蕉句碑

巨大ソテツ生息地

ガジュマル群

アカテツ群

枝手久島

大和村

奄美市

奄美大島

宇検村

佐念モーヤ

瀬戸内町

ホノホシ海岸

須子茂麓

加計呂麻島

与路島

請島

後醍醐孫八の城跡

和泊町の世之主の墓

和泊町

知名町

沖永良部島

住吉暗川

昇竜洞

ジッキョヌホー

アジ墓

9

天城町

徳之島町

徳之島

戸森の線刻画

7

犬田布岬

伊仙町

与論町

根津栄墓

与論島

アマンジョウ

与論城跡



「たっぷり

喜界島コース」

喜界島1日周遊！


あなたの知らない鹿児島に
あいにくう。

喜界島は、サンゴ礁が隆起してできた島です。古くから南島交易の拠点として栄えました。たっぷり喜界島コースでは、古代の城久遺跡から近代の戦闘指揮所跡、現在も成長を続けている植物まで、様々な時代の文化財を1日かけて見て回ることができます。

喜界島空港 発

- 1 城久遺跡 約15分
大島郡喜界町山田  
- 2 ウリガー 約15分
大島郡喜界町中熊191  
- 3 芭蕉句碑 約10分
大島郡喜界町志戸桶820 
- 4 巨大ソテツ生息地 約10分
大島郡喜界町嘉純858 
- 5 アカテツ群 約5分
大島郡喜界町阿伝 
- 6 ガジュマル群 約15分
大島郡喜界町手久津久  
- 7 戦闘指揮所跡 約10分
大島郡喜界町中里200 

喜界島空港 着

 約3分(1分)

城久遺跡

ぐすくいせき



国指定史跡

9～15世紀に至る大規模な集落

城久遺跡は、山田中西遺跡、山田半田遺跡、半田口遺跡、小ハネ遺跡、前畑遺跡、大ウフ遺跡、半田遺跡、赤連遺跡の8つの遺跡の総称です。まず、大型の建物跡群が検出された山田半田遺跡に行ってみましょう。現地案内板横には建物跡の柱位置が復元されています。また、遺跡から島外産の青磁や陶器が出土しており、広く交易がおこなわれていたことが分かります。城久遺跡群出土品は、県の有形文化財に指定されています。

文化財探訪
行ってみてコラム

出土品は、喜界町埋蔵文化財センターで見ることができます。センター横には、天然記念物のヒメタツナミノソウも自生しています。



● 周辺環境



- お問合せ先
喜界町埋蔵文化財センター
鹿児島県大島郡喜界町洞川 1203
☎ 0997-55-3308

- 所在地
大島郡喜界町山田



ウリガー

ウリガー



喜界町指定史跡

らせん状の「下り井戸」

ウリガー(ウリハー)とは横穴式の井戸のことで、下へ降りていくと水源地があります。縦に真っすぐ井戸を掘る技術が進んでいなかった頃、横から掘り下げて水を汲み上げていました。ウリガーは、遠くから斜めに掘り下げたものと、らせん状に掘り下げたものがあります。この井戸はらせん状に掘られており、実際に下へ降りていくことができますが、足を滑らせないように注意してください。サンゴ礁の石垣で囲まれた、喜界島らしい独特の雰囲気のある場所です。

文化財探訪
行ってみてコラム

荒木集落にもウリガーがあり、同じく町の史跡に指定されています。



● 周辺環境



- お問合せ先
喜界町埋蔵文化財センター
鹿児島県大島郡喜界町洞川 1203
☎ 0997-55-3308

- 所在地
大島郡喜界町中熊 191



芭蕉句碑

ばしょうくひ

松尾芭蕉が伊賀上野で
読んだとされる歌の碑

島内産の石でできた句碑です。文化6(1809)年12月に建てられたもので、当時歌をたしなむ人がいたことを物語っています。もともとは志戸橋の保食神社境内に建っていましたが、風化を防ぐために神社前の戦没者慰霊碑地内に移され、コンクリートの壁をつくり保護されました。碑の表面には「芭蕉翁」と「春たちて まだ九日の 野山哉」という歌が、裏面には4句の歌が刻まれています。風化のため判読は難しい状態です。



● 周辺環境

- お問合せ先
喜界町埋蔵文化財センター
鹿児島県大島郡喜界町滝川1203
☎ 0997-55-3308
- 所在地
大島郡喜界町志戸橋820



巨大ソテツ生息地

きょだいそてつせいそくち



南国ムード満載な常緑の高木

推定樹齢約300年・樹高約6m・胸高約4.2mの巨大ソテツです。ソテツは、雌雄異株の裸子植物で、この木は雄木です。喜界町では、貴重な植物を保護する目的で昭和48(1973)年に「喜界町自然保護条例」が制定されました。よって、保護植物の採取は禁止されています。ソテツをはじめ、ユリ・テンノウメ・アダン・モンパノキ・クサトベラ・ハリツルマサキなどが指定されているため、注意しましょう。



● 周辺環境

- お問合せ先
喜界町埋蔵文化財センター
鹿児島県大島郡喜界町滝川1203
☎ 0997-55-3308
- 所在地
大島郡喜界町嘉純858

文化財探訪
行ってみてコラム

保食神社は、島内のほとんどの村にあり、農業の神・豊受姫命(とよけのひめのみこと)が祀られています。

文化財探訪
行ってみてコラム

阿伝・喜純集落およびその周辺は、奄美群島国立公園に指定されています。

アカテツ群

あかてつぐん



塩害を防ぐ防風垣

海の神・綿津見命(わだつみのみこと)を祀る末吉神社境内にあるアカテツ群です。防風垣として重宝されています。アカテツは、熱帯・亜熱帯地域で見られる常緑の高木です。標高203mにある百之台国立公園の展望所から、海岸に広がるサンゴ礁・防風林・集落・耕作地と一望できます。アカテツ群見学後は是非お立ち寄りください。また、阿伝地区では、台風に備えてつくられたサンゴの石垣が見られます。

文化財探訪
行ってみてコラム

喜界島の海のことは、喜界島
サンゴ礁科学研究所のサンゴ
ミュージアムで学んでみよう!



● 周辺環境

- お問合せ先
喜界町埋蔵文化財センター
鹿児島県大島郡喜界町阿川11203
☎ 0997-55-3308
- 所在地
大島郡喜界町阿伝



ガジュマル群

がじゅまるぐん



手久津久の巨大ガジュマル

樹高約18m・幹周り約16m・枝張り(生育場所の占有面積)の直径は約42m、推定樹齢は100年を越える巨大なガジュマルです。ガジュマルは、南西諸島で多くみられる常緑の高木で、秋～春頃にかけて1cmほどの実をつけます。歴々の防風垣や燃料として使われてきました。ガジュマル群は、ドラマのロケ地にもなったパワースポットです。他にも島内には数多くのガジュマルがあります。

文化財探訪
行ってみてコラム

喜界島の自然については、
喜界町歴史民俗資料室で詳し
く学ぶことができます。



● 周辺環境

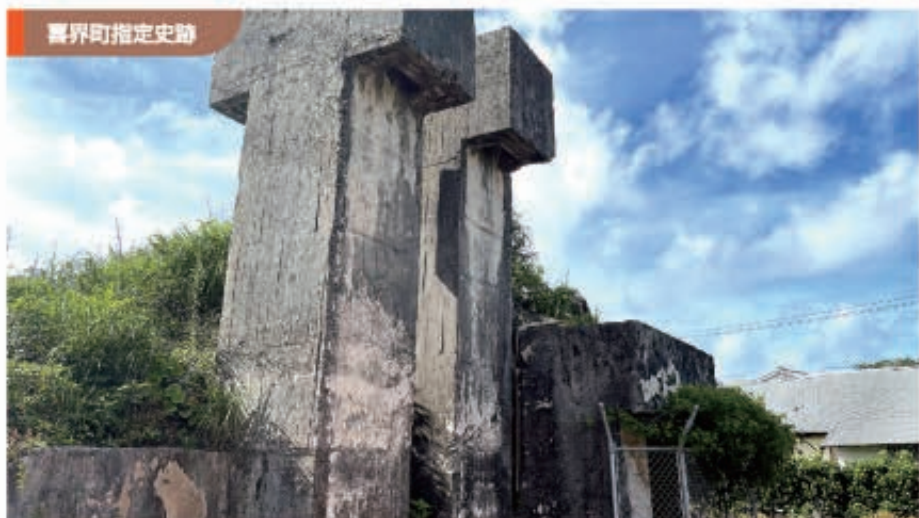
- お問合せ先
喜界町埋蔵文化財センター
鹿児島県大島郡喜界町阿川11203
☎ 0997-55-3308
- 所在地
大島郡喜界町手久津久



戦闘指揮所跡

せんとうしきしょあと

喜界町指定史跡



喜界島は本土防衛の要

鉄筋コンクリート造りの戦闘指揮所の跡です。半地下式で、入口は4か所あり、屋上は見張り所となっていました。現在の喜界空港周辺は、太平洋戦争下には海軍飛行場がありました。特攻機の中継地として重要な地であり、作戦指示を戦闘指揮所で受けていました。他にも、特攻機を格納していたコンクリート製の掩体壕跡や、旧海軍の電波探知機地跡、海軍特攻艇「震洋」の格納壕跡など、戦争関連の史跡が島内に点在しています。

文化財探訪 行ってみてコラム

喜界町歴史民俗資料室で関連する資料を見てみましょう。他にも町指定の文化財が展示されています。



● 周辺環境

- お問合せ先
喜界町埋蔵文化財センター
鹿児島県大島郡喜界町洞川 1203
☎ 0997-55-3308
- 所在地
大島郡喜界町中里200



大島
地区

「シマの
文化巡りコース」

奄美大島・徳之島1泊2日！

あなたの知らない鹿児島に
あいにく。

奄美群島では、集落は方言で「シマ」と呼ばれます。2島の市町村すべてに足を運ぶことができるコースです。それぞれの特色を肌で感じてください。2021年、2島は世界自然遺産に登録されました。世界に誇る自然と織りなす文化を巡ってみましょう。

●1日目 奄美空港 発

1 宇宿貝塚 約5分
奄美市笠利町大字宇宿2301

2 奄美ばしゃ山民俗村
旧安田家住宅主屋 約15分
奄美市笠利町大字用安字車万川1505-1

3 旧岩切家住宅高倉・旧大司家住宅高倉・
旧有村商事高倉 約10分
大島郡龍郷町瀬留字浜田原 968-1

4 大和浜のオキナワウラジログシ林 約60分
大島郡大和村大和浜龍ノ川

5 佐念モーヤ 約1時間5分
大島郡宇検村佐念

6 ホノホシ海岸 約1時間10分
大島郡瀬戸内町蘇刈

●2日目 亀徳新港 発

7 犬田布岬 約30分
大島郡伊仙町犬田布

8 戸森の線刻画 約25分
大島郡天城町瀬滝 1672-1、1673-1

9 アジ墓 約35分
大島郡徳之島町手々

亀徳新港 着 なら 約40分



奄美群島初の国指定史跡

縄文時代前期から中世にかけての複合遺跡です。調査で発見された縄文時代晩期頃の竪穴住居跡や中世のお墓などの遺構を、そのままの状態で見学することができます。また、出土した土器や石器なども展示してあります。中世の地層からは埋葬跡が発見され、2体の人骨(壮年初期の女性骨と新生児骨)が出土しました。女性はガラスの装飾品をつけており、高貴な人だと考えられます。女性の人骨は、奄美市歴史民俗資料館に展示されています。貝塚と合わせてご覧ください。

文化財探訪
行ってみてコラム

宇宿小学校横には、国指定重要文化財(建造物)の「泉家住宅おもてとおこら くら」があります。とおこらとは、台所棟のことです。



●周辺環境



●お問合せ先

奄美市教育委員会文化財課
(奄美市立奄美博物館)
鹿児島県奄美市名瀬長浜町 517番地
☎ 0997-54-1210

●所在地

奄美市笠利町大字宇宿2301



奄美ばしゃ山民俗村旧安田家住宅主屋

あまみばしゃやまみんぞくむらきゅうやすだけじゅうたくしゅおく



国登録有形文化財(建造物)

奄美の伝統的な住宅

江戸時代末期に建てられた奄美の有力者の民家です。木造平屋で、柱を桁や梁などに貫通させるヒキモン構造といわれる構造が特徴的です。炊事棟が分かれた二棟分棟型の民家の主屋(オモチ)が保存されています。実際に主屋に入ることができ、暮らしの雰囲気を感じることができます。近くには、同じくヒキモン構造が特徴の登録有形文化財「園家住宅主屋」と市指定文化財(名勝)の「園家の庭園」があります。

文化財探訪
行ってみてコラム

奄美の自然・歴史・文化を紹介している「奄美パーク」や「奄美市立奄美博物館」でシマの暮らしを事前学習してみたいかがでしょうか!



● 周辺環境



● お問合せ先

奄美市教育委員会文化財課
(奄美市立奄美博物館)
鹿児島県奄美市名瀬渡辺町 517 番地
☎ 0997-54-1210

● 所在地

奄美市笠利町大字
用安字草万川1505-1

旧岩切家住宅高倉・
旧大司家住宅高倉・旧有村商事高倉

きゅういわきりけじゅうたくたかくら・きゅうたいしけじゅうたくたかくら・きゅうありむらしょうじたくかくら



国登録有形文化財(建造物)

伝統的な茅葺の高床倉庫

3棟の高倉が東西に並んでおり、東側が旧有村商事高倉、中央が旧大司家住宅高倉、西側が旧岩切家住宅高倉です。3棟とも、4本の円柱に茅葺屋根という籠郷で典型的な造りの高倉です。高倉は、穀物や黒糖、ナリ(ソテツ)の実などを貯蔵する高床式の倉庫のことです。通気性がよく、湿気やネズミから貯蔵物を守ることが特徴で、釘を使わずに作られています。倉下は、農作業場や道具置き場、年中行事の宴会場などに利用されました。

文化財探訪
行ってみてコラム

高倉横の籠郷町生涯学習センターりゅうがく館には、文化財展示室「島ミュージアム」があります。



● 周辺環境



● お問合せ先

籠郷町教育委員会事務局
鹿児島県大島郡籠郷町瀬原 968-1
☎ 0997-69-4532

● 所在地

大島郡籠郷町
瀬原字浜田原 968-1



大和浜のオキナワウラジロガシ林

やまとはまのおきなわうらじろがしりん



国指定天然記念物

提供：大和村教育委員会

日本一大きなドングリの実をつける木

大和村大和浜の役場裏山に、瀧ノ川山(タキノコ山)と呼ばれる山があります。渓流に沿って広がる凹地斜面で、急傾斜となっている場所に、直径50cm以上のウラジロガシが100本以上、直径100cm以上のものが5本残っています。瀧ノ川山は、集落の重要な水源地であり、昔から集落民が神聖な「神山」として崇め、そのおかげで、集落の直近でありながら戦後の新や炭材の伐採等からも大切に守られてきました。オキナワウラジロガシは、奄美大島が北限となっています。

文化財探訪
行ってみてコラム

遊歩道が整備されていますが、森の中を歩くため、長袖・長ズボン・滑りにくい靴を着用することを推奨します。往復30分ほどかかります。



● 周辺環境



● お問合せ先

大和村教育委員会事務局
鹿児島県大島郡大和村大和浜 100
☎ 0997-57-2154

● 所在地

大島郡大和村大和浜瀧ノ川



佐念モーヤ

さねんもーや



宇検村指定史跡

提供：宇検村教育委員会

サンゴでつくられた共同墓地

モーヤとは共同墓地のことで、奄美・沖縄の最も古い形態の墓のひとつです。佐念集落のモーヤは、サンゴでつくられています。モーヤの中には人骨がそのまま供養されていますが、先祖の遺骨とも無縁仏ともいわれています。集落で大切に守られてきました。また、龍郷町赤尾木には、町の文化財に指定されているハヤ(人骨を納めるために板石で囲いをした墓)があります。

文化財探訪
行ってみてコラム

生涯学習センター「元気の出る館」の歴史民俗資料展示室には、宇検村の指定文化財が展示してあります。



● 周辺環境

● お問合せ先

宇検村教育委員会
鹿児島県大島郡宇検村瀧湾 2937 番地 83
☎ 0997-67-2261

● 所在地

大島郡宇検村佐念



ホノホシ海岸

ほのほしかいがん



瀬戸内町指定名勝

提供：瀬戸内町教育委員会

美しい波音がする海岸

一面に玉石が広がる海岸です。玉石は荒波で角が削られたものです。波が浜辺に打ち寄せると玉石が「カラカラ」と音をたてます。ホノホシの語源は、「舟越」が訛ったものだといわれています。伊須湾と大島海峡の行き来の際に、近道のために舟を担いで渡ったことに由来します。

文化財探訪
行ってみてコラム

瀬戸内町立郷土館に立ち寄ってみましょう！町指定文化財が展示されています。



● 周辺環境



● お問合せ先

瀬戸内町立図書館・郷土館
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 1283-17 番地
☎ 0997-72-3798

● 所在地

大島郡瀬戸内町蘇刈



犬田布岬

いぬたぶみさき



伊仙町指定名勝

青の絶景

伊仙町西南端に突き出た岬で、一帯が奄美群島国立公園となっている景勝地です。琉球石灰岩の海食崖や広がる東シナ海が絶景です。北側には寝姿山を、運がよければウミガメを見ることが出来ます。奄美を代表する10の景勝地「奄美十景」にも選ばれています。また、昭和20年4月に撃沈された戦艦大和戦没者の慰霊塔が建立されています。戦艦大和は沖縄救援のために出撃し、徳之島よりむかって西方の海上で魚雷により撃沈されました。

文化財探訪
行ってみてコラム

夕焼け(サンセット)が綺麗に見えるため、日の入り時間を調べて訪れることもオススメです。



● 周辺環境



● お問合せ先

伊仙町教育委員会社会教育課
伊仙町歴史民俗資料館
鹿児島県大島郡伊仙町伊仙 2945-3
☎ 0997-86-4183

● 所在地

大島郡伊仙町犬田布



戸森の線刻画

ともりのせんこくが



提供：天城町教育委員会

岩に描かれた謎の絵

岩盤に鋭利なもので船や矢の絵図が描かれたもので、戸森では3岩盤の線刻画が見つかっています。天城町三京(1岩盤)、伊仙町馬根(1岩盤)、犬田布岳山頂(2岩盤)、徳之島町母間(2岩盤)でも見つかっており、いずれも標高100mの内陸部にあり、船・弓・矢が描かれています。描かれた時期や誰が描いたのかは不明ですが、近世期に地元島民が描いたと推定されています。絵に写実性があることから、具体的な出来事を描いたものだと考えられます。矢が船に向かっており、一部は突きささっていることから、海上での戦いの様子ではないかと考察されています。



● 周辺環境



● お問合せ先

天城町教育委員会社会教育課
鹿児島県大島郡天城町平土野 2891-1
☎ 0997-85-4729

● 所在地

大島郡天城町
滝滝 1672-1、1673-1



アジ墓

あじばか



徳之島町指定史跡

「ウッチ」と呼ばれる村の長の墓

徳之島が琉球王国の支配下にあった時代に、掟役(村の長)であった掟大八の墓です。大八と大八を守るように6つの家来の墓石があり、総称して「掟司墓」と呼ばれています。大八は石工としての腕を見込まれ、首里で城づくりに加わりました。大八の見事な働きぶりは評価され、工事が終わると褒美として王から特別に酒器一式を下賜されました。酒器一式は子孫に家宝として残され、現在徳之島町郷土資料館に展示されています。



● 周辺環境

● お問合せ先

徳之島町郷土資料館
鹿児島県大島郡徳之島町亀津 2918
生涯学習センター3階
☎ 0997-82-2908

● 所在地

大島郡徳之島町手々





「先人ゆかりの地コース」

沖永良部島・与論島2泊3日！

あなたの知らない鹿児島に
あいにくう。

沖永良部島と与論島の偉人や昔の人々の暮らしが分かるコースです。時間に余裕のあるコース設定のため、じっくり見て回るもよし、その他の文化財を見に行くもよし、資料館に立ち寄るもよし、美しい景色を眺めるもよし！魅力を味わいつくしてください。

●1日目 沖永良部空港 発

- 1 和泊町の世之主の墓  約20分
大島郡和泊町内城 
- 2 後蘭孫八の城跡  約5分
大島郡和泊町後蘭 
- 3 ジッキョヌホー  約10分
大島郡知名町瀬利党  
- 4 住吉暗川  約10分
大島郡知名町住吉
- 5 昇竜洞  約5分
大島郡知名町住吉  

●2日目 与論港 発

- 6 与論城跡  約5分
大島郡与論町立長3313  
- 7 根津栄墓  約5分
大島郡与論町朝戸522 
- 8 アマンジョウ  約5分
大島郡与論町麦屋

与論港 着 なら

 約15分

和泊町の世之主の墓

わどまりちょうのよのぬしのはか

琉球石灰岩で作られた
奄美群島最大の墓

琉球で北山・中山・南山の三山が割拠していた1400年頃、沖永良部島は北山の支配下にあったとされ、北山王の次男 眞松千代が世之主(島主)として島を治めていたと伝わります。世之主の墓は、地元では「ウファ」と呼ばれています。墓室内には、中央に3つと四隅に各1つ厨子壺(琉球の骨壺)が納められており、中央は世之主・奥方・嫡男、四隅は家臣の四天王のものとされます。伝説では、ウラマサヨシ ぐらまぐはち じしきくにうきべえさ くんじいやたる 歴者眞三部、後蘭孫八、西目国内兵衛、国頭弥太郎の4人が四天王といわれています。



● 周辺環境



- お問合せ先
和泊町教育委員会
鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地
☎ 0997-92-0300
- 所在地
大島郡和泊町内城



後蘭孫八の城跡

ぐらまぐはちのしろあと



神秘的なパワースポット

後蘭孫八は、壘ノ浦の戦いで源義経に敗れた平家一門の子孫といわれ、世之主四天王の1人とされています。築城の名手としての伝説も残っています。孫八の城跡は地域の人々により整備され、実際に歩いて見学することができます。まるで別世界にタイムスリップしたかのような空間が広がります。自然地形を利用した構造が随所に見られ、孫八の子孫といわれる旧家の屋敷跡も見事です。



● 周辺環境



- お問合せ先
和泊町教育委員会
鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地
☎ 0997-92-0300
- 所在地
大島郡和泊町後蘭



ジッキョヌホー

じっきょぬほー

知名町指定有形民俗文化財



瀬利覚集落の憩いの場

ジッキョヌホーは、水道施設が整備されるまで、水を得る水源地として、また集落民の社交の場として利用されていました。「ジッキョ」は集落の名前（瀬利覚集落）、「ホー」は川という意味です。飲用、生活、灌漑用水、防火用水、子どもたちの水遊び場など集落の人々の生活を支えました。現在は整備され、地域の人々の保全活動が受け継がれています。

文化財探訪
行ってみてコラム

水環境の保全状態が良く、環境省から「平成の名水百選」に認定されています。



● 周辺環境



● お問合せ先

知名町教育委員会生涯学習課
鹿児島県大島郡知名町瀬利覚 2362
☎ 0997-81-5151

● 所在地

大島郡知名町瀬利覚



住吉暗川

すみよしくらごう

県指定天然記念物



昔の暮らしを想像させる場所

暗川とは、地下河川を伴う石灰岩洞窟のことです。石灰岩層が発達している、徳之島南部、沖永良部島、与論島で確認されています。知名町には、住吉、正名、田舎、ニヤートゴウと4つの暗川が存在し、中でも住吉は最大規模を誇ります。水道施設が整備されるまで、水を得る水源地として島民の生活を支えていました。また、社交の場としても利用されていたことから、民俗学的な価値もあると評されています。

文化財探訪
行ってみてコラム

九本柱の高倉（その他の文化財に記載）が、暗川に隣接しています。一緒に見学してください。



● 周辺環境



WALK

● お問合せ先

知名町教育委員会生涯学習課
鹿児島県大島郡知名町瀬利覚 2362
☎ 0997-81-5151

● 所在地

大島郡知名町住吉



昇竜洞

しょうりゅうどう

県指定天然記念物



自然の芸術

昭和38年に愛媛大学探検部により発見された鍾乳洞です。全長3500mのうち、600mが公開されています。洞穴内には、鍾乳石、石筍、石柱、フローストーンが発達しています。フローストーンとは、壁を覆うようにできた鍾乳石のことで、昇竜洞のものは全国でも最大級です。保存状態が大変良く、ほぼ原始状態を保っています。洞穴からは、人骨や獣骨、管玉、土器などが発見されました。

文化財探訪
行ってみてコラム

沖永良部島はユリ・キクなどの生産も盛んなことから「花と鍾乳洞の島」と呼ばれています。



● 周辺環境



● お問合せ先

知名町教育委員会生涯学習課
鹿児島県大島郡知名町瀬利尻 2382
☎ 0997-81-5151

● 所在地

大島郡知名町住吉



与論城跡

よろんじょうあと

与論町指定史跡



サンゴを使った石塁が特徴の城跡

与論城は、琉球国北山王の怕尼芝の三男王舅が与論の世之主(島主)として来島し築城したと伝わっています。与論島南部94mの高台にあり、海や陸内を一望できます。また、南側と西側は断崖になっており、天然の要塞です。1405～1416年の間に築城されたと伝わり、北山の滅亡のために未完だったと推定されています。いわゆるグスクと呼ばれる琉球式の築城法の北限と考えられています。

文化財探訪
行ってみてコラム

与論城跡にある地主神社では、国指定重要無形民俗文化財の「与論の十五夜踊り」が奉納されます。



● 周辺環境



● お問合せ先

与論町教育委員会事務局生涯学習課
鹿児島県大島郡与論町茶花 1418-1
☎ 0997-87-2441

● 所在地

大島郡与論町立長3313



根津栄墓

にっちえばか



与論町指定史跡

島を守った英雄・按司根津栄の墓

按司根津栄を祀った神社の境内にあります。「按司」は豪族の称号で、根津栄は、琉球統治以前に与論島を治めていたといわれる人物です。幼少より武術を好み、琉球国の船が島の近辺を通過する際に矢を射て、航行不能にしてしまうほどでした。根津栄の死後、琉球王は死を確認するために軍兵1000人を派遣しましたが、根津栄の死体を生きているものと勘違いして、上陸することができなかったという逸話が残っています。

文化財探訪
行ってみてコラム

船倉海岸の浜宿跡（その他の文化財に掲載）は、按司根津栄が休憩所として使った場所です。



● 周辺環境



● お問合せ先

按司根津栄神社
鹿児島県大島郡与論町浅戸 1660 番地
☎ 0997-87-3611

● 所在地

大島郡与論町朝戸522



アマンジョウ

あまんじょう



与論町指定天然記念物

与論島の神井戸

アマンジョウは、「アмамコの井戸」や「アмамコの出入り口」と呼ばれます。「ジョウ」は、川という意です。祝女がアマンジョウで身を清め、近くの赤崎御願（町指定史跡）を拝したと伝わります。与論島に初めて人類が渡来してきた時に、この水を発見して住み着いたといわれ、与論島人類渡来発祥の地とされています。

文化財探訪
行ってみてコラム

アマンジョウのある赤崎海岸では、四万十帯の露頭を見ることができます。



● 周辺環境

● お問合せ先

与論町教育委員会事務局生涯学習課
鹿児島県大島郡与論町茶花 1418-1
☎ 0997-87-2441

● 所在地

大島郡与論町麦屋



大島
地区

「その他文化財」

あなたの知らない大島に
あいにく。

他にも魅力的な文化財が数多く残されています。大島地区の文化財は、それぞれの島で特徴があります。また、地域に伝わる祭りや伝統芸能は開催日が決まっているため、開催に合わせて何度でも足を運んでください。きっと素敵な出会いが待っています！

瀬留カトリック教会聖堂 ゴシック様式の聖堂

せどめかとりっくきょうかいせいどう

国登録有形文化財(建造物)



明治41(1908)年にフランス人宣教師のハルプ神父とブイジュ神父によって建堂された木造平屋の聖堂です。当時はカトリック教会ではなく、天主公会とよんでいました。戦災で被害を受け、昭和62(1987)年に改修工事がおこなわれたものの、建設当時の姿をよく残しています。聖堂を支える柱は、奄美特産のイジュが使用されています。聖堂横の司祭館(木造二階建)も登録有形文化財です。昭和7(1932)年に建てられ、すべて屋久杉が使用されています。

- お問合せ先
龍郷町教育委員会事務局
鹿児島県大島郡龍郷町瀬留 968-1
☎ 0997-69-4532
- 所在地
大島郡龍郷町瀬留271-1



奇岩群 自然のパワーでつくられた奇岩

きがんぐん

龍郷町指定天然記念物



ガクマルと呼ばれる赤尾木の東海岸は、太平洋の荒波が打ち寄せ岸壁を削り、奇怪な形の岩が集まっています。この岩の集まりが奇岩群です。手広海岸から見に行くとよいでしょう。また、岩の中には「潮だまり」ができるほどの穴があいたものもあります。奇岩群近くには、ハートロックと呼ばれるハート型の潮だまりがあり、人気のスポットとなっています。ハートロックは、干潮時に行くことができます。

- お問合せ先
龍郷町教育委員会事務局
鹿児島県大島郡龍郷町瀬留 968-1
☎ 0997-69-4532
- 所在地
大島郡龍郷町赤尾木



大和浜の群倉 5棟の高倉

やまとはまのぼれぐら



複数の物が集まった状態を、方言でプレ・ブリイといふことから、「群倉(ボレグラ)」と呼ばれています。この様な形態の群倉は、島内至る所に見られますが、現在は大和浜の群倉のみとなっています。集落から離れた場所にあるのは、火災から難を逃れるため、風通しがよいため、農作地に近く作業がしやすいためなどと言われています。

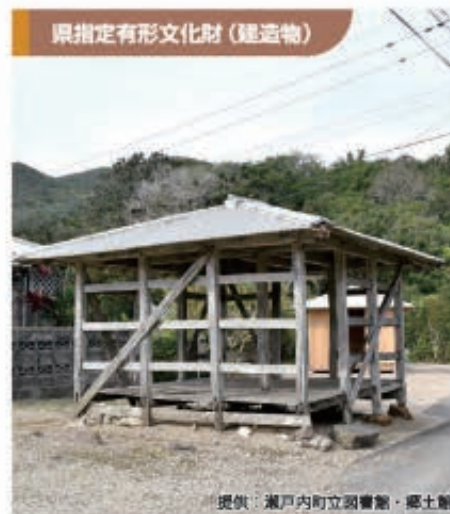
- お問合せ先
大和村教育委員会事務局
鹿児島県大島郡大和村大和浜 100
☎ 0997-57-2154

- 所在地
大島郡大和村大和浜



加計呂麻のアシャゲ ノロの祭場

かけろまのあしやげ



アシャゲは、「ノロ」と呼ばれる女性を中心とした祭祀の集団が祭りをおこなっていた場所(木造建築物)です。集落には、「ミヤー」と呼ばれる祭りをおこなう広場があり、その隣にアシャゲがあります。加計呂麻島にある3棟(阿多地集落、須子茂集落、三浦集落)が文化財に指定されています。また、嘉入の「ノロ祭祀具一式」は、同じく県の有形民俗文化財に指定され、古仁屋の瀬戸内町立郷土館に所蔵されています。

- お問合せ先
瀬戸内町立図書館・郷土館
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋1263-17番地
☎ 0997-72-3799

- 所在地
大島郡瀬戸内町
阿多地、須子茂、三浦



辨才天石像・寄進塔 海上安全の祈願

べんざいてんせきざう・きしんとう



辨才天は七福神のひとつで、長寿や防災、勝利などをつかさどる女神です。石像は厳島神社の祭壇に御神体として安置されています。間切役人の礎家初代・佐渡知が、元禄5(1692)年に大島の代表として上国(鹿児島城下に行くこと)する際、海上安全を祈願するために安置しました。また、社殿の前庭には寄進塔が立っています。寄進塔は、元禄15(1702)年9月18日に寄進されたものです。集落では厳島神社のことは「お寺」と呼んでいます。

- お問合せ先
宇検村教育委員会事務局
鹿児島県大島郡宇検村浦崎 2937 番地 83
☎ 0997-67-2261

- 所在地
大島郡宇検村宇検



秋名のアラセツ行事 奄美の古い稲作儀礼を伝える祭り

あきなのあらせつぎょうじ



アラセツとは「新節」の意で、秋名のアラセツ行事は旧暦8月の初丙の日におこなわれます。明け方に山でおこなわれる「ショチョガマ祭り」と、夕日の沈む満潮時に海でおこなわれる「平瀬マンカイ祭り」の2つの祭事があり、山と海から稲の神様を招き豊作を祈ります。ショチョガマは茅葺の小屋のことで、山の中腹につくり揺さぶり倒します。マンカイとは、両手を招くように動かす所作(手舞い)のことで、岩の上でノロたちが稲魂を招き祈願をします。

- お問合せ先
龍郷町教育委員会事務局
鹿児島県大島郡龍郷町瀬田 968-1
☎ 0997-69-4532

- 所在地
大島郡龍郷町秋名



油井の豊年踊り

豊年を祈願する仮面芸能

ゆいのほうねんおどり



旧暦の8月15日に油井の「ミヤー(広場)」で開催されます。ミヤーには集落の守り神である自然石のイビガナシが祀られています。紙製の仮面をかぶった異形の者(シシ)が現れ、綱を切る演目「綱切り」から始まり、稲作の収穫工程を表現したさまざまな芸能が披露されます。

- お問合せ先
瀬戸内町立図書館・郷土館
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 1283-17番地
☎ 0997-72-3799
- 所在地
大島郡瀬戸内町油井



ウンブキ

海底洞窟

うんぶき



ウンブキと呼ばれる鍾乳洞です。サンゴ礁が隆起して鍾乳洞ができたのち、再び海に没したため、海底洞窟になっています。約400m先で海につながっており、潮の満ち引きで水位が変化します。アンキアライン(地下で海水と真水が混じり合う場所)洞窟で、ウンブキで初めて発見されたウンブキアナゴ(天城町指定天然記念物)をはじめ、珍しい生物が生息しています。また、森を好む国指定天然記念物のアカヒゲも生息しています。

- お問合せ先
天城町役場商工観光水産課
鹿児島県大島郡天城町平土野2891-1
☎ 0997-85-5382
- 所在地
大島郡天城町浅間 23



諸鈍芝居

平家の落人伝説にまつわる芸能

しょどんしばや



加計呂麻島の諸鈍集落に伝わる民俗芸能です。源平合戦に敗れ落ち延びた平資盛一行が諸鈍に居を構え、人々との交流のために教えたことが始まりといわれています。シバヤは、旧暦の9月9日に資盛を祀っている大屯(おおちゃん)神社で奉納されます。シバヤの出演者は男性のみで、手製の紙面(カビディラ)をかぶることが特徴です。加計呂麻島展示・体験交流館では、諸鈍芝居の映像を鑑賞することができます。

- お問合せ先
瀬戸内町立図書館・郷土館
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 1283-17番地
☎ 0997-72-3799
- 所在地
大島郡瀬戸内町諸鈍



徳之島カムイヤキ陶器窯跡

大規模な窯跡

とくのしまかむいやきとうきかまあと



11~14世紀の窯跡で、奄美群島国立公園内にあります。窯跡が最初に発見された地名から、「カムイヤキ(亀焼)」と呼ばれます。甕、壺、鉢、碗、水差しなど、主に調理や食事で使用される道具が作られていました。九州や琉球列島でも発見されており、交易品であったことが分かります。出土品は、伊仙町歴史民俗資料館に展示されています。伊仙町内には、他にも国指定史跡の面縄貝塚や県指定史跡の犬田布貝塚などの遺跡があります。

- お問合せ先
伊仙町教育委員会社会教育課
伊仙町歴史民俗資料館
鹿児島県大島郡伊仙町伊仙 2945-3
☎ 0997-86-4183
- 所在地
大島郡伊仙町阿三 1981-2



アマングスク遺跡

あまんぐすくいせき



平成2年に発見された遺跡

アマングスク(天城)遺跡からは、約30000年前の旧石器時代に使用された石材の割片などが発見されています。出土したチャート(堆積岩)製の石器は、楔形石器や台形石器と呼ばれています。同じく、天城町のカマントッ遺跡や伊仙町の佐井遺跡、宮戸原遺跡などから見つかっており、徳之島は旧石器時代の遺跡が密集する地域として注目されています。出土品は、伊仙町歴史民俗資料館に展示されています。ぜひお立ち寄りください。

- お問合せ先
伊仙町教育委員会社会教育課
伊仙町歴史民俗資料館
鹿児島県大島郡伊仙町伊仙 2945-3
☎ 0997-86-4183

- 所在地
大島郡伊仙町木之香



喜念権現新田神社

きねんごんげんにったじんじゃ



喜念集落の聖地

喜念権現は、新田神社(喜念うたけ)と共に文化財指定されています。喜念権現は、鍾乳洞の中に石碑が祀られ、雨乞いや豊年を祈願する祭りをおこなっていました。新田神社は、別称「新田権現」と呼ばれています。古くは喜念御島(うたき)と言われ、森全体が信仰の場とされていました。御神木には、安産を願うために海砂が貢納されています。喜念権現と新田神社は、歩いて約15分の距離です。併せて見学されてください。

- お問合せ先
伊仙町教育委員会社会教育課
伊仙町歴史民俗資料館
鹿児島県大島郡伊仙町伊仙 2945-3
☎ 0997-86-4183

- 所在地
大島郡伊仙町喜念



古井戸

長く集落住民の生活を支えた井戸

ふるいど



東面縄地区に伝わる古井戸です。「東浜(アガパー)井戸」と呼ばれています。琉球王から派遣された豊見大親が築かせたと伝わっています。豊見大親は、体格が大きく力があり、特に石工の技術に優れた人物だったようです。井戸の深さは約5m、内径約2m、石灰石を積み重ねてできています。東面縄の唯一の飲料水として長く利用され、水道が普及する昭和30年代半ばまで使われていました。

- お問合せ先
伊仙町教育委員会社会教育課
伊仙町歴史民俗資料館
鹿児島県大島郡伊仙町伊仙 2945-3
☎ 0997-86-4183

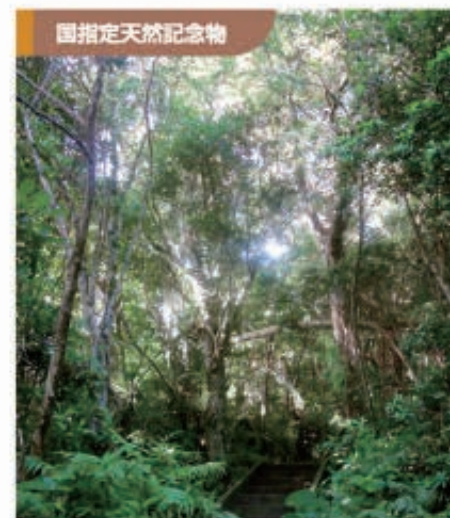
- 所在地
大島郡伊仙町面縄



徳之島明眼の森

伐採が避けられてきた神聖な森

とくのしまみようがんのもり



アマミアラカシ群落が広く見られ、絶滅危惧植物のツルランなど、貴重な動植物が生息しています。また、明眼の森自然公園は、投司の館や風葬地があった神聖な場所として明眼神社が建立されています。見学の際は、ハブや毒虫などに注意して、長袖長ズボンで散策することをお勧めします。植物を傷つけたり、生き物を捕まえたりせず、遊歩道から外れないように歩きましょう。

- お問合せ先
伊仙町教育委員会社会教育課
伊仙町歴史民俗資料館
鹿児島県大島郡伊仙町伊仙 2945-3
☎ 0997-86-4183

- 所在地
大島郡伊仙町犬田布



国頭フーチャ 大迫力の潮吹き上げ

くにがみふーちゃ



和泊町指定名勝

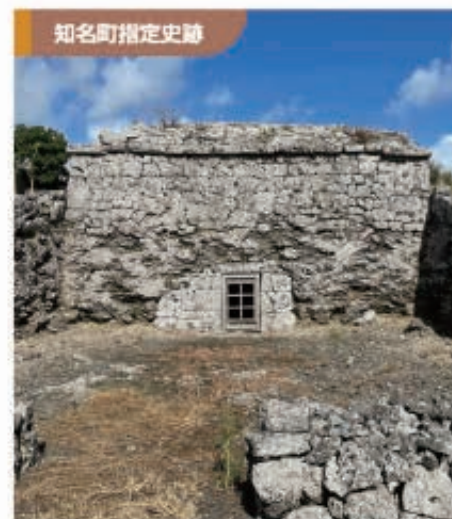
フーチャとは、隆起サンゴ礁が荒波で浸食されてできた「潮吹き上げ洞窟」のことです。奄美群島国立公園内にあります。季節風や台風時には高く潮を噴き上げ、水滴が霧状になり農作物に多大な被害を与えていました。そこで、昭和38年に4ヶ所あったフーチャのうち3ヶ所を破壊し、現フーチャのみが残されました。

- お問合せ先
和泊町教育委員会
鹿児島県大島郡和泊町和泊 10番地
☎ 0997-92-0300
- 所在地
大島郡和泊町国頭



屋者琉球式墳墓 屋者真三郎の墓

やじりゅうきゅうしきふんぼ



知名町指定史跡

屋者琉球式墳墓は世之主の四天王の一人「屋者真三郎」の墓といわれています。石灰岩をくり抜いて造ったトゥール墓(洞穴や、掘り込んで造られた古墓のこと)で、岩壁の上に加工された石を積んで形づくられています。墓から、壺、甕、碗、瓶などが見つかっています。肥前焼や薩摩焼、琉球やタイの製品など、広域の品が入っていましたが、いつ頃入ってきたものなのかははっきりと分かっていません。

- お問合せ先
知名町教育委員会生涯学習課
鹿児島県大島郡知名町瀬利寛 2362
☎ 0997-81-5151
- 所在地
大島郡知名町屋者



新城花窪ニヤート墓 代官妻子の墓

しんじょうはなくぼにやーとばか



知名町指定史跡

ニヤート墓は、代官(1804年)や座横目(1824年)として沖永良部島に赴任した運矢金兵衛が、妻子のために造ったものだとされています。外庭と内庭がつくられ、間を石門で区切っています。知名町には似た造りの墓はありませんが、和泊町にある世之主の墓(県指定史跡)や、チュラドゥール(掘込墓)と類似しています。墓中には、蔵骨器(骨壺)や人骨が残っています。

- お問合せ先
知名町教育委員会生涯学習課
鹿児島県大島郡知名町瀬利寛 2362
☎ 0997-81-5151
- 所在地
大島郡知名町新城



田皆カルスト地帯 解放感あふれる絶景

たみなかるすどちたい



知名町指定名勝

カルスト地帯は、石灰岩が雨水や地下水などの浸食作用を受けてできた地形のことです。東シナ海に突き出した田皆岬は、高さ約51mの断崖絶壁で、奄美を代表する美しい10の景勝地「奄美十景」のひとつに選ばれています。断崖絶壁は通称「ヤグニヤバクタ」と呼ばれています。岬から、海を食べてくるウミガメの姿をしばしば見ることができます(特に5月下旬～7月下旬に見られる)。

- お問合せ先
知名町教育委員会生涯学習課
鹿児島県大島郡知名町瀬利寛 2362
☎ 0997-81-5151
- 所在地
大島郡知名町田皆



大津勘のビーチロック 岩に覆われた美しい海岸

おおつかんのびーちろっく

県指定天然記念物



ビーチロックは、海辺の砂やサンゴなどによってできた石灰質砂岩のことです。地下水に溶けている石灰が太陽熱を吸収することによっておこるセメント作用により出来たとされています。大津勘のビーチロックは規模が大きく、厚さ10～60cmの層が何層かに重なりあって形成され、長さは約200m、最大幅は約40m地表に現れています。有孔虫の殻を多く含む黄褐色のものや、サンゴを多く含む白色のもの、石灰化が進み桃色のものなどバリエーションに富んでいます。

- お問い合わせ先
知名町教育委員会生涯学習課
鹿児島県大島郡知名町瀬利克 2362
☎ 0997-81-5151

- 所在地
大島郡知名町大津勘



九本柱の高倉 珍しい九本柱！

きゅうほんばしらのたかくら

知名町指定有形文化財(建造物)



高倉は、穀物を貯蔵する高床式の倉庫のことです。稲作の盛んだった昭和40年代までは各集落に多く見られました。奄美諸島から沖縄には四本柱、六本柱の高倉が多く、九本柱の高倉はたいへん珍しいです。住吉の竹林家から大山の自然休養村野営場へ移築されていましたが、住吉暗川(県指定天然記念物)の整備にあわせ、平成21年に住吉暗川横に再度移築されました。住吉暗川と併せて見学してください。

- お問い合わせ先
知名町教育委員会生涯学習課
鹿児島県大島郡知名町瀬利克 2362
☎ 0997-81-5151

- 所在地
大島郡知名町住吉



アーニマガヤトゥール墓 石灰岩をくり抜きつられた墓

アーにまがやとーるばか

知名町指定史跡



アーニマガヤトゥール墓は、アーニ(赤嶺)のマガヤというところにある、トゥール墓という意味です。薩摩の人々の影響を受け作られたといわれています。古老の話によると、共同墓地として赤嶺集落以外の人たちも利用したという説や、豪族の墓という説があるそうです。墓室には、骨壺を安置するための棚が3つ設けられています。新城花塚ニヤート墓や屋者琉球式墳墓(共に町指定史跡)には無く、アーニマガヤのみの特徴と考えられます。

- お問い合わせ先
知名町教育委員会生涯学習課
鹿児島県大島郡知名町瀬利克 2362
☎ 0997-81-5151

- 所在地
大島郡知名町赤嶺



屋川 城集落の生活用水

やごー

与論町指定天然記念物



城自治公民館横にある湧き水です。地下約7mにある自然湧水で、水道施設が整備されるまで、城集落の生活用水として利用されていました。また、与論の世之主が築城時代から使用されていたと伝えられています。この水は、南海岸のウジジ浜に流れ出ています。地下に下っていく際は、急傾斜のため足元に十分気を付けてください。

- お問い合わせ先
与論町教育委員会事務局生涯学習課
鹿児島県大島郡与論町茶花 1418-1
☎ 0997-97-2441

- 所在地
大島郡与論町変屋3405



浜宿跡 休憩所

はまやどうい



与論町指定史跡

大金久北端付近を船倉(ぶなくら)といいます。根津栄は、船倉沖でよく漁をしたと伝わります。浜宿跡は、根津栄が漁をした後に使った休憩所(宿・ヤドウイ)跡で、石垣や竈干場が残っています。投司根津栄神社境内にある、根津栄墓(頭骨安置所)もぜひ見学されてください。投司根津栄の頭蓋骨には弓矢跡の穴があるといわれています。

- お問合せ先
与論町教育委員会事務局生涯学習課
鹿児島県大島郡与論町茶花 1418-1
☎ 0997-97-2441

- 所在地
大島郡与論町船倉岬



与論の十五夜踊り

よろんのじゅうごやおどり



国指定重要無形民俗文化財

歴史ある豊年祭

旧暦3月、8月、10月の15日に地主神社へ奉納される踊りです。島民慰安、島中安穩、五穀豊穡祈願のためにおこなわれます。狂言を主体とした一番組と、琉球風の二番組の踊りで構成され、それぞれ交互に踊ります。祭りの最初に行われるアマタボウリの際に先頭に掲げられる大旗は、豊年の神のようなものです。踊り手が、頭から布で顔を覆う「シュバ」という被り物をかぶることが特徴的です。最後は見学人も一緒に「六調」を踊ります。

- お問合せ先
与論町教育委員会事務局生涯学習課
鹿児島県大島郡与論町茶花 1418-1
☎ 0997-97-2441

- 所在地
大島郡与論町城



赤崎ウガン 信仰の場

あかさきうがん



与論町指定史跡

赤崎ウガン(御願)は信仰の場で、近くのアマンジョウ(町指定天然記念物)で祝女が身を清め、この地で拝したと伝わります。この御願は島内でも有数の聖地ですので不用な立入は御遠慮ください。また、赤崎ウガン近くにある与論民俗村では、芭蕉布織りを伝承しています。与論島の芭蕉布製造技術は、国指定無形民俗文化財に指定されています。民俗村では、その他文化財が展示されていますのでぜひお立ち寄りください。

- お問合せ先
与論町教育委員会事務局生涯学習課
鹿児島県大島郡与論町茶花 1418-1
☎ 0997-97-2441

- 所在地
大島郡与論町変屋 629-1



徳之島町井之川夏目踊り 豊作を感謝する祭り

とくのしまちょういのかわなつめおどり



県指定無形民俗文化財

旧暦盆後の戌の日に実施されていましたが、現在は新暦8月15日の盆が終わって最初の土日に実施されています。祭り開始前に行われる「浜下り」と「夏目踊り」が一連の行事として指定されています。浜下りは、浜に出て海の彼方から霊的な力を招き、祖先を祀る行事です。夏目踊りは、浜下りで得た力を皆に与え、豊作を祈願し、夜を徹して踊られます。夏目とは「夏の折り目」のことで、季節の変わり目に踊られることに由来しています。

- お問合せ先
徳之島町郷土資料館
鹿児島県大島郡徳之島町亀津 2918
生涯学習センター3階
☎ 0997-82-2908

- 所在地
大島郡徳之島町



<参考文献一覧>

- 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書 第14集」(S42)
鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書 第29集」(S58)
鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書 第31集」(S60)
鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書 第48集」(H14)
鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書 第63集」(H29)
鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書 第64集」(H30)
鹿児島県教育委員会「かごしま文化財事典」(H14)
喜界町教育委員会「減久渡跡群」(H27)
喜界町教育委員会「山田半田遺跡」(H21)
喜界町教育委員会「喜界島見てある記」(S57)
喜界町誌編纂委員会「喜界町誌」(H12)
笠利町教育委員会「宇宿貝塚」(S54)
鶴郷町誌民俗編さん委員会「鶴郷町誌 民俗編」(S63)
鶴郷町誌歴史編さん委員会「鶴郷町誌 歴史編」(S63)
大和村誌編纂委員会「大和村誌」(H22)
瀬戸内町誌編纂委員会「瀬戸内町誌民俗編」(S52)
瀬戸内町誌歴史編纂委員会「瀬戸内町誌歴史編」(H19)
宇城部落郷土誌編纂委員会「宇城部落郷土誌 歴史景観の里」(H8)
奄美文化財保護対策連絡協議会「奄美の文化財案内」(S54)
徳之島民俗学会編「徳之島小史」(S38)
伊仙町誌編さん委員会編「伊仙町誌」(S53)
与論町教育委員会「与論町誌」(S63)
喜界町HP
鶴郷町HP
知名町HP
与論町HP
伊仙町文化財データベース
文化遺産オンライン(文化遺産データベース)
現地説明板

